

ネクスト CL・NCL・JF・KDHシリーズ

組み立て説明書

お買い求め頂きました商品の段数によって組み立て方と商品明細が違いますので、段数をよくお確かめの上、組み立てて下さい。
安全にお使い頂く為の項目は必ずお守り下さい。

注意1 4段、6段用には天板はありません。5段用のみ入っています。

注意2 5段用のみに入っています天板は、他の棚板より約5ミリ大きくなっています。

(図1)



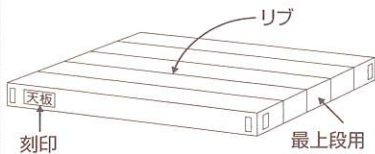
天板は、最上段以外には
使用しないで下さい。

(図3) 金具の向き



取付金具図
刻印
○突起のあるほうが上です。

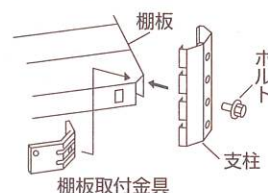
(図2) 天板の見分け方



●天板には間口方向に天板の刻印が押してあります。

《商品明細》	基本タイプ		
	4段用	5段用	6段用
支柱(別梱包)	4本	4本	4本
天板 図2・注意1	無し	1枚	無し
棚板	4枚	4枚	6枚
取付金具 図3	16個	20個	24個
ボルト	16個	20個	24個
支柱キャップ	4個	4個	4個
スパナ	1個	1個	1個

(図4) 棚板の取り付け方



組み立て例 5 段用

組み立て例 4 段用・6 段用

1 4本の支柱に支柱キャップを取り付けます。(図1参照)

※最後に水平を確認するまで強く締めないで全て仮止めの状態にしておいて下さい。

①～⑥の順番で棚板を支柱に取り付けます。
棚板の取り付け方(図3、図4参照)
支柱の爪を棚板に入れ、棚板の内側より取付金具をあて、ボルトで仮止めします。

2 ※ボルトの入りにくい場合は付属のスパナで軽く締めて下さい。

①の天板は(図2参照)1番上の爪に②の棚板は下から2～5番目の爪に入れてください。
※安定感が無くなり、転倒や支柱が折れる原因となります。

1 4本の支柱に支柱キャップを取り付けます。(図1参照)

※最後に水平を確認するまで強く締めないで全て仮止めの状態にしておいて下さい。

①～⑥の順番で棚板を支柱に取り付けます。
棚板の取り付け方(図3、図4参照)
支柱の爪を棚板に入れ、棚板の内側より取付金具をあて、ボルトで仮止めします。

2 ※ボルトの入りにくい場合は付属のスパナで軽く締めて下さい。

①の棚板は1番上の爪に②の棚板は下から2～5番目の爪に入れてください。
※安定感が無くなり、転倒や支柱が折れる原因となります。

3 残りの支柱を取り付けます。

4

3 残りの支柱を取り付けます。

4

5

①仮止めが終了したら、棚を立て、段違いになっているか確認して下さい。

Ⅱ ボルトを締める時は、棚を立て、水平を保ち柱の爪が棚板にきちんとはまっている事を確認して下さい。

※棚板の強度を増すリブをほどきた為に加工上でヒズミが出ている場合がありますので必ず棚を立てて水平、垂直を確認してⅢの作業を行って下さい。

Ⅲ 最後に全てのボルトをしっかり締めて、固定して下さい。

6

5

※棚板の強度を増すリブをほどきた為に加工上でヒズミが出ている場合がありますので必ず棚を立てて水平、垂直を確認してⅢの作業を行って下さい。

Ⅲ 最後に全てのボルトをしっかり締めて、固定して下さい。

6

ネクスト スチールラック 取り扱い説明書

このたびは、ネクストスチールラックをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この商品は組立式になってますので組み立てる前に、別紙の部材明細と中の品物が、すべて揃っているか確認して、この『取り扱い説明書』をよくお読みの上、正しくお使いください。
取り扱い説明書は、大切に保存してください。

組み立ての際は安全の為、手袋をご使用下さい。

安全にお使いいただくために



この表示を無視して誤った取り扱いをされますと、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

組み立てについての注意点

- この取り扱い説明書の「組み立て方」をよく読んで、それに従って組み立てて下さい。
- 付属の部品などを、無くさないよう注意して下さい。
- 組み立ては、広い場所とか周囲に人がいないなど、安全の確保のできる場所でおこなって下さい。
- 棚板の間隔は、転倒防止のため上部へかたよらないよう、ほぼ均等間隔になるように設計して下さい。
(最下段は下から15cm以内に取り付けて下さい)
- 棚板を裏返しにして使用しますと、強度が半減しますので、裏返しにしての使用は避けて下さい。
- ボルトを強く締め付ける前に、棚の水平と垂直を確認しながら組み立てて下さい。棚がねじれたままで、締め付けますと、安全性やおさまりが悪くなります。
- ボルトは強い力で締め付けると、ねじ切れる場合がありますのでご注意ください。(7~8N.mの強さで締め付けて下さい)
- 「ボルトの締め忘れ」「ボルトのゆるみ」は、非常に危険ですので、完成時に今一度「忘れ」「ゆるみ」がないか必ず確認して下さい。

設置場所についての注意点

- 床面のしっかりした場所に設置して下さい。
軟弱な床面や不安定な床面には設置しないで下さい。
- 床面が水平な場所または、安全性を確保した上で、棚が水平で垂直になるように設置して下さい。
- 転倒のおそれのある「安定の悪い場所」「高い場所」「振動する場所」「強風のあたる場所」には、置かないで下さい。
- 設置後の棚の周囲にシュートするおそれや火災の原因になるようなものは、据え付けしないで下さい。
- 湿気の多い場所で、長い間使用になりますと錆が発生することがありますのでご注意ください。
- 極端な温度条件や、急激な温度変化のある場所での使用は避けて下さい。

設置方法についての注意点

- 転倒防止のため、棚は「壁面に接するように」設置することをおすすめいたします。
- 棚を設置する際に、地震などによる転倒にそなえて、転倒防止の措置をおこなって下さい。
- 建物の壁・床・天井などに、固定金具や固定用部材などで

しっかり固定して下さい。

- 棚を2台以上並べて設置する場合は、結束バンドなどで棚と棚を連結すると安定性が増します。
- 棚は、水平・垂直を保つように設置して下さい。
ガタツキのあるままご使用になりますと転倒したり、転倒によるけがの原因となることがあります。

使用方法についての注意点

- 棚の耐荷重および平面静止総積載重量は、等分布荷重で表示していますが、強度は棚の使い方によって異なりますので目安としてご利用下さい。
- 棚の片側だけに荷重がかたよらないようにお使い下さい。
- 棚の安定性が悪くなりますので、ものが棚からはみ出さないように載せて下さい。
- 転落の危険がありますので、不安定なものは載せないで下さい。
- 水槽台としての使用はしないで下さい。
- 危険物や割れ物は、載せないで下さい。
- 棚以外の目的で使用しないで下さい。
- 棚に乗ったり、登ったり、腰掛けたり、踏み台などに使用しないで下さい。
- 「取り扱い説明書」や「組み立て説明書」に、記載してない改造はしないで下さい。
- 水(雨)、湿気、洗剤、薬品などが付着すると錆や塗装の変色や塗装がはがれる場合があります。
- 臭いの気になる方は、通気性の良い場所で、臭いが少なくなってからご使用下さい。
- 使用上の誤り及び、不当な改造による損傷や事故等におきましては、一切責任は負えませんので、ご了承下さい。
- 本商品の組立後、又は使用中に設置場所を移動する際は、必ず手袋を着用して下さい。

耐荷重一覧表(等分布荷重)

品 名	棚板1枚当たり	
JFシリーズ	150kg	※但し天板は、除く。
CL・KDHシリーズ	100kg	※但し天板は、除く。
NCLシリーズ	100kg	※但し天板は、除く。

この取り扱い説明書の内容に関しては、将来予告なく変更する場合があります。

この取り扱い説明書の内容については万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がございましたら、お買い上げの担当窓口または、右記までお問い合わせ下さい。

株式会社 **ダイソー**

〒547-0033 大阪市平野区平野西1丁目1番11号
TEL.06-6703-1016